

耳鼻咽喉科学

責任者名：米原 啓之

学期：前期

対象学年：5年

授業形式等：講義

◆担当教員

米原 啓之(口腔外科学Ⅱ 教授)

松崎 洋海(隣接医学 兼任講師)

原田 英誉(隣接医学 兼任講師)

浅居 僚平(隣接医学 兼任講師)

◆一般目標 (GIO)

耳鼻咽喉科学では内耳、中耳腔、鼻副鼻腔、口腔、咽頭、喉頭を対象としている。これらの領域では、聴覚・嗅覚・味覚といった感覚器と発声・発語・嚥下・呼吸といった機能を司っている。従って、耳鼻咽喉科学は歯科と相互に密接なつながりのある境界領域であり、歯科医師にとっては極めて重要な隣接医学である。本教科では歯科医師として必要な耳鼻咽喉科・頭頸部外科学の知識を習得する。

◆到達目標 (SBOs)

歯科診療を行うために必要な耳鼻咽喉科的な知識を身につけ歯科診療を行うことができる。

◆評価方法

隣接医学Ⅲ (7教科)

平常試験は「小児科学・耳鼻咽喉科学・眼科学・精神・神経科学」の範囲、定期試験は「皮膚科学・泌尿器科学・産婦人科学」の範囲で判定を行い、両方の試験を総合して各50%により評価する。

◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間・場所など	メールアドレス・連絡先	備考
米原 啓之	月曜日～金曜日 17:00～18:00 口腔外科学第Ⅱ講座教授室	yonehara.yoshiyuki@nihon-u.ac.jp	

◆授業の方法

授業は教科書、PC、黒板を用いて行う。教科書の内容を理解していることを前提に、教科書以外の内容を講義に含めることもある。

平常試験後にはフィードバックを行う。

◆教材 (教科書、参考図書、プリント等)

種別	図書名	著者名	出版社名	発行年
教科書	隣接医学Ⅲ (PDF ファイル配付)	日本大学歯学部編	日本大学歯学部	令和5年

参考書	新耳鼻咽喉科学	野村恭也 監修 加我君孝 編集	南山堂	平成25年度
-----	---------	--------------------	-----	--------

◆DP・CP

コンピテンス4：歯科医学および関連領域の知識

コンピテンス：4-1, 4-2, 4-3, 4-4, 4-7, 4-8

対応するディプロマ・ポリシー：DP4

コンピテンス5：医療の実践

コンピテンス：5-2, 5-4, 5-7, 5-9, 5-10

対応するディプロマ・ポリシー：DP5

コンピテンス6：コミュニケーション

コンピテンス：6-1, 6-2, 6-3, 6-4

対応するディプロマ・ポリシー：DP6

コンピテンス7：地域社会への貢献

コンピテンス：7-1, 7-2, 7-3

対応するディプロマ・ポリシー：DP7

◆準備学習(予習・復習)

講義前に対応する教科書の各章を読むこと。

◆準備学習時間

各々の授業時間相当を充てて予習と復習を行うこと。

◆全学年を通しての関連教科

隣接医学 I, II

口腔外科手術時の患者管理

口腔診断学・有病者歯科学

◆予定表

回	クラス	月日	時限	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
1		4.3	6	耳鼻咽喉科学概論 1. 鼻科学 1 1) 鼻副鼻腔の解剖、生理 2) 顔面外傷	・耳鼻咽喉・頭頸部外科で扱う領域について説明できる。 ・鼻副鼻腔の解剖、生理を説明できる。 ・顔面外傷の診断を説明できる。 ・顔面外傷の治療法を説明できる。	原田 英誉	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
2		4.10	6	2. 鼻科学 2 1) 副鼻腔炎	・副鼻腔炎の診断と治療法を説明できる。	原田 英誉	E-6 医師と連携するために

				2) 鼻アレルギー	・鼻アレルギーの疫学, 診断, 治療法を説明できる。		必要な医学的知識
3		4.17	6	3. 耳科学 1) 耳の解剖,生理 2) 難聴疾患の診断と治療 3) 眩暈疾患の診断と治療	・外耳・中耳・内耳の解剖と生理を説明できる。 ・難聴疾患の診断と治療法を説明できる。 ・眩暈疾患の診断と治療法を説明できる。	原田 英誉	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
4		4.24	6	4. 喉頭科学 1 1) 喉頭の解剖,生理 2) 喉頭疾患	・喉頭が軟骨と筋群で構成されている意味を説明できる。 ・内喉頭筋群の種類と動きを説明できる。 ・迷走神経と喉頭の間関係を説明できる。 ・先天性, 炎症性, 隆起性喉頭疾患を説明できる。 ・声帯麻痺への対応を説明できる。	松崎 洋海	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
5		5.1	6	5. 喉頭科学 2 1) 無喉頭発声 2) 音声障害 3) 気管食道異物	・喉頭摘出後の音声再建法を説明できる。 ・音声障害の診断を説明できる。 ・気管・気管支異物を説明できる。 ・食道異物について説明できる。	松崎 洋海	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
6		5.8	6	6. 口腔咽頭科学 1 1) 口腔咽頭の解剖,生理 2) 口腔・味覚疾患 3) 睡眠時無呼吸症候群	・口腔咽頭の解剖と生理を説明できる。 ・味覚障害の診断と治療法を説明できる。 ・睡眠時無呼吸症候群の診断と治療を説明できる。	原田 英誉	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
7		5.15	6	7. 口腔咽頭科学 2 1) 扁桃の解剖,生理 2) 扁桃の手術適応 3) 嚥下障害	・ワルダイエル咽頭輪を説明できる。 ・特殊な扁桃炎があることを説明できる。 ・咽頭扁桃・口蓋扁桃の手術適応を列挙し, その理由を説明できる。 ・嚥下の仕組みと障害への対応を説明できる。	原田 英誉	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識

8		5.22	6	頭頸部腫瘍学総論 8. 頭頸部外科学 1 1) 唾液腺腫瘍 2) 喉頭腫瘍	・頭頸部腫瘍の特徴や疫学を説明できる。 ・耳下腺・顎下腺腫瘍の疫学, 検査, 治療を説明できる。 ・喉頭腫瘍の疫学, 検査, 治療を説明できる。	浅居 僚平	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
9		5.29	6	9. 頭頸部外科学 2 1) 副鼻腔腫瘍 2) 咽頭腫瘍	・頭頸部腫瘍の特徴や疫学を説明できる。 ・副鼻腔腫瘍の症状, 検査, 治療について説明できる。 ・上・中・下咽頭腫瘍の症状, 検査, 治療を説明できる。	浅居 僚平	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
10		6.5	6	10. 頭頸部外科学 3 1) 頸部炎症疾患 2) 頸部良性腫瘍 3) 甲状腺腫瘍	・頸部炎症性疾患を説明できる。 ・発生場所別に頸部良性腫瘍を説明できる。 ・甲状腺腫瘍の診断と治療を説明できる。	浅居 僚平	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
		6.12	6	平常試験		米原 啓之	

